水源の里　水梨 AtoZ

発行日	2025年3月31日
文・写真	京都産業大学現代社会学部 滋野ゼミ 清水胡春 眞河春果 高坂万葉 矢野智大 朝倉一登 佐藤志希
デザイン	意匠房
協力	水源の里水梨 滋野浩毅（京都産業大学現代社会学部教授）
写真提供	水源の里水梨、綾部市定住・地域政策課
発行	あやべ水源の里連絡協議会

水源の里 水梨

AtoZ

MESSAGE

水梨地区は定住人口19人の小さな村ですが、他地域在住縁者、関係者との結びつき、そして人々の温かさによって活気ある地域となっています。私たちが訪れた際にも、住民の皆さんは温かく迎えてくださいました。作成にあたり住民の方々をはじめ、様々な方にご協力していただきました。今回の冊子は私たちが感じた水梨の魅力を集約しています。多くの方々に水梨を知っていただき、実際に足を運ぶきっかけになればと思います。

ABOUT ～水梨について～

水梨は、上林川上流の山間に位置する集落です。
源流となる川の水はとても綺麗で、この水のおかげで美味しいお米が収穫できます。
また住民の方々の結びつきがとても強く見られ、小さいながらも活気ある集落です。

人口19人 11世帯（2025年2月現在）

春 待ち望んだ日射しに山菜が芽吹き、一面水鏡となった田んぼが山々の新緑を輝き映します。6月、ホタルがわきたつ幻想の乱舞は見逃せません。

夏 濃い緑。照りつける日射しを避ければ風は爽やか。お昼は夏野菜！ 冷たい水梨川で小魚を追い、夜は満点に耀く星空を眺め、昼も夜もトリハダ体験できます。

秋 寒暖ある山の紅葉。田んぼは一面黄金色に輝きいよいよ水梨米の収穫です。稲刈りの匂い、もみ殻を燃やすなぜが懐かしい匂いを知っていますか？　丹波栗の甘さは知ってますよね。

冬 「うらにし気候」とは陽の地と対局の山陰気候、鉛色の空。しかし、日射しを得るとそこはアナ雪の世界。ドカ雪なら輝く山の稜線を眺めながら屋根の雪下ろしも体験できます！？

CONTENTS

Access A アクセス
Brand B ブランド
Car C 購買車
Design D デザイン
Energy E エナジー
Family F ファミリー
Group mizuna G グループ水菜
Hokora H 祠
Ike I 池
Jump J ジャンプ
yukiKakoi K 雪囲い
Life L 生活
Margaret? M マーガレット？
Nihonkamoshika N ニホンカモシカ
Ominaeshi O オミナエシ
Photo P 写真
Quality Q クオリティ
River R 川
Saisentan S 最先端
Taiko T たいこ
U U 逆さ山
Vegetable V 野菜
White W 雪
X X つながり
Yearly event Y 年中行事
Zoo Z 動物

A

Access

アクセス

水梨から少し先の菅坂峠に２００６年、トンネルが開通しました。このことにより、舞鶴市までの移動時間が大幅に短縮しました。このトンネルは住民にとって、とても重要なインフラとなっています。

B

Brand

ブランド

水梨には綺麗な水が流れており、とてもおいしいお米が育ちます。そのお米を水梨米と名付け売り出しています。水梨米は京のプレミアム米コンテストで金賞を獲得した実績があり、水梨を象徴する特産品になっています。

C

Car

購買車

週１回水梨に来る移動購買車は、住民にとって日常生活を支える大事なライフラインとなっています。暮らしに欠かせない存在である購買車は、地域の人と街とのつながりを感じられる象徴となっています。

D

Design

デザイン

特産品である水梨米ですが、そのパッケージである米袋のデザインはIターンで水梨に来た方の友人がデザインされたものです。水梨の自然の豊かさがコミカルに描かれており、親しみのあるデザインになっています。

E

Energy

エナジー

小川のせせらぎ、雄々しい山々、穏やかながらも力強さを備える豊かな自然、ひっそり佇む古い神社や、住民の方が丹精込めて手がける田んぼや畑などなど、集落のいたるところから強いエナジーを感じることができます。

F

Family

ファミリー

皆がそれぞれニックネームで呼びあい、村の方々の深い絆を感じ取ることができます。まさに家族のような親密さが特徴であり、「ファミリー」という言葉がふさわしい、あたたかな村だといえます。

G

Group mizuna

グループ水菜

平成半ば『グループ水菜』という生活改善グループを結成し、手作りのあめやこんにゃく、漬物、石鹸などを販売していました。これらの商品は多くの方々から愛され、イベント等に出店したことはなつかしい思い出です。

H

Hokora

祠

田舎にはどこの村にもある小さな祠。集落から少し谷沿いに上がると村の神様が祀られています。歴史はあるが、誰も知らない祠。夏と秋には掃除し、お神酒をそなえ、初詣に。村の心のよりどころです。

I

Ike

池

山の頂上に古い小さなため池があります。その昔、大蛇が大雨で流されたことにより山からの水の流れが変わってしまったげな。『まんが日本昔ばなし』でも類似した話が放映されました。

J

Jump

ジャンプ

水梨公民館は、築約６０年、鉄骨造２階建てで当時にしてはかなりモダンな建物でした。今では「みんなが２階でジャンプをしたら床が抜けるかもね」とジョークを言われる建物で、水梨のシンボルです。

K

yukiKakoi

雪囲い

降雪量の多い水梨地区では、家を落雪や風雪から守るための対策がされています。家の周りに柱を立て、横木を渡した雪囲いをしており、積雪量の多い地域ならではの知恵で家を雪から守っています。

L

Life

生活

かつては各家庭にかまどと五右衛門風呂があったので、多くの薪が使われていました。現在も薪ストーブを利用されるご家庭があり、薪の暖かさは格別とのことです。でも、薪づくりはとても大変なのです。

M

Margaret?

マーガレット？

菅坂峠からの府道沿いにあるお花畑。その花姿から「マーガレットでは？」と住民の方は話されますが、正確な品種は分かっていません。その昔、自治会で配られ播かれた種が広がり、群生するようになったと言われています。

N

Nihonkamoshika

ニホンカモシカ

国の天然記念物に指定されているニホンカモシカが近くに出没することがあります。ニホンカモシカは自然の多い場所に生息する貴重な動物です。このことは水梨の自然の豊かさの象徴となっています。

O

Ominaeshi

オミナエシ

オミナエシは秋の七草として知られる植物です。かつては休耕畑を使って一面に育て、色鮮やかな黄色は村の彩となっていました。個体数が減少していますが、今もところどころ庭先に植えられています。

P

Photo

写真

公民館には、村の近年の歴史を残す写真が飾られています。地域行事やイベントに参加した様子など、心温まる思い出も一緒に切り取られており、水梨のあたたかさや仲の良さを見られるものとなっています。

Q

Quality

クオリティ

山間の集落の田んぼはその地形から小さくて形もいびつ、山の陰となり水はとても冷たいため、たくさんのお米を作るには適しません。ですが、その分ミネラル豊富な山の水で良質な美味しいお米が採れます。

R

River

川

水梨を流れる小川は上林川の上流に位置する自然豊かな川で、サワガニや小魚などの沢山の生き物が生息しています。また、子どもたちが自然と触れることのできる貴重な場となっており、憩いの場にもなっています。

S

Saisentan

最先端

水梨は年々人口が少なくなっており、“限界集落最先端”であると住民の方は自嘲気味に語られます。しかし、水源の里の取り組みをきっかけに“将来ある最先端”を目指し、試行錯誤しながら日々模索されています。

T

Taiko

たいこ

この太鼓は、[H]で紹介した祠で朽ちていたものを上林太鼓保存会により再生されました。現在は同会によって大切に管理されつつ、地域のお祭りで欠かせない存在に。勇壮な太鼓の音は今年も響き渡ることでしょう。

U

U

逆さ山

一面に水が張られている田んぼでは、奥の山がU字型のように逆さの形で水面に映ります。水面に映る山の形は逆さ富士のような美しさがあります。水梨の水の清らかさ、景色の素晴らしさが一目で伝わります。

V

Vegetable

野菜

どこの家にも自家用の畑がありますが、不順な気候、高齢化、そして何より鳥獣害との戦いに心を痛めています。それでも工夫を重ねて対策し、手間暇かけて育て上げた野菜は、市販のものでは得られない格別の味わいです。

W

White

雪

ずり落ちた雪が屋根につながるほどの豪雪地域です。普段の景色は一変、白一色の世界になります。そり、かまくらなどに興じるかつての子どもたちが懐かしいと住民の方々。雪を楽しむ小さな来訪者を心待ちにされています。

X

X

つながり

Xは線と線が交わることから人と人とのつながりを連想しました。週末には枚方や福知山等から水梨に通われている方々が熱心にお米作りに携わるなど、つながりを大切にしています。

Y

Yearly event

年中行事

忘年会や旅行、祭りなど、住民同士の交流が深まるイベントを定期的に開催しています。これらのイベントには多くの住民が参加し、親睦を深めながら楽しいひとときを共に過ごしています。

Z

Zoo

動物

様々な野生動物が姿を現します。これが一番の悩みのタネです。水田は住民総動員で全てをメッシュ柵で囲いましたが、サルやカラス、小動物には効果が薄く、侵入を許した畑の野菜は壊滅的な被害を受けてしまいます。

こぼれ話

村の墓地山には五輪塔が並べられています。これは「そう墓」と呼ばれていますが、先祖のものなのか、誰を葬ったものなのか誰も知りません。村の中で協力し、お盆にはお墓の掃除とお参りが行われています。

住民コメント

阪田 雅之（水源の里・水梨代表）

どこにでもある小さな山村。綾部の市街地からは一番奥の村。しかし東舞鶴から菅坂峠を越えると一番最初に見える里山です。一瞬で通過しそうですが、ぜひ少し立ち止まり、四季の輝きを体験してください。それより道ばたで立ち話ししてる村人の笑顔が輝いてるかもしれません (^^)

波多野 秀二

四季を通して自然豊かな地域、小規模山間集落です。綺麗な水、美しい自然里山風景の中、米づくり、村づくりにいそしんでいます。ここのお米は美味しいとの評価はとても励みになっています。これからできることを探しながら…有意義な時を皆さんと過ごしたいと考えています。

波多野 房子

誇れるものはなにもない小さな村ですが、澄んだ空気と水が日常で、自家野菜のごはん。毎日の散歩でそぞろご近所さんと合流すれば、四季折々の話題に尽きることはありません。この時間がいいんです。最近の話題は、昨年公民館の裏山一面に植樹された桜やもみじ。あの山がどんな彩り、景色になるんやろな〜って、皆のとっておきのお楽しみです。

波多野 眞澄

水梨地区は、綾部市の最端に位置し舞鶴とは菅坂トンネルで 15 分の位置にあり、綾部と舞鶴は割と近い距離にあります。春には野ブキの佃煮や筍の木の芽あえ、6月にはホタルの乱舞（年による）、秋は栗餅や黒豆の枝豆ビールが楽しみです。近くにお越しの際は一度、覗いて声をかけてみてください。

松本 瑞穂

母と暮らしはじめて 6年になりました。たまにくる故郷が毎日暮らすと退屈でしたが、今では空の青、山の緑、空気、匂い、野菜すべてが私に元気をくれます。村の人もなんでも話せる楽しい人達。綾部市内からは一番奥の村になりますが、みなさんが遊びに来たくなるようなイベントができたらいいですね。

学生コメント

清水 胡春

水梨を自分の足で訪れ、見聞きすることで水梨のことが大好きになりました。訪れた際にいただいた水梨米や豚汁の味の虜です。そんな暖かく魅力の詰まった水梨の良さがこの冊子を通してより多くの人に伝わると嬉しいです。

眞河 春果

豊かな自然と、住民の方々のあたたかさが特徴的な水梨地区を訪れる度に好きになりました。私たちが感じた水梨の魅力をこの冊子にまとめました。見てくださる多くの方々にも水梨の魅力が伝わると嬉しいです。

高坂 万葉

AtoZの作成を通じて、水梨の隠れた魅力や村の方々のあたたかさを直に感じることができました。その良さをこの冊子で表現できていれば幸いです。また、作成にあたり携わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。

矢野 智大

水梨は空気・水・食物が新鮮でとても美味しく、住民の方々が温かくおもてなししてくれる優しさ溢れる地域です。私たちが経験・感じたことを冊子にまとめました。水梨の魅力がこの冊子を通して皆様に伝われば幸いです。

朝倉 一登

住民同士の結束や居心地の良さを感じ、何度も訪れたくなるような人々の温かさに触れることができた水梨地区。豊かな自然やおもてなしなど、たくさんの魅力が詰まったこの水梨に是非皆様も足を運んでみてください。

佐藤 志希

水梨は、住民の方々の仲が良く、協力して自然と伝統を守っている姿が魅力的です。豊かな自然と共生する暮らしが息づく場所で、住民の方々の温かさや優しさに触れることができます。ぜひ一度足を運んでみてください。

滋野 浩毅（京都産業大学 教授）

水梨の魅力は集落の名の通り、水の美しさにあるように思えます。そしてその水は集落を取り囲む山の恵みであり、それがおいしいお米も育むのでしょう。まさに「山に抱かれた」といった表現がぴったりの水梨。心も体も穏やかにさせてくれます。